



ユーザートラブルのリスクを軽減！電子署名が支える安心の同意取得プロセス

Oh my teeth

設立 2019年3月

資本金 1,000万円

URL <https://www.oh-my-teeth.com/>

株式会社Oh my teethは、「未来の歯科体験を生み出す」をミッションに掲げ、自宅でできるD2C型マウスピース矯正「Oh my teeth」を企画・開発・運営するオーラルテックベンチャーです。

提携クリニックで初回3Dスキャンを行い、その後は通院の必要なく自宅で治療が可能。従来は100万円前後かかっていた矯正費用を約1/3の33万円に抑え、通院回数も平均18回から1回に削減することで治療離脱率の大幅な改善に成功しました。

また3Dプリンターを活用したマウスピースの自社製造、LINEを活用した24時間サポートなど、技術とサービス品質の向上を追求。創業以来、黒字経営を継続し、売上は4年間で約15倍の30億円にまで成長しました。今後は、業界トップクラスおよび世界的なクリニックチェーンの構築を目指し、品質の均一化とグローバル展開を進めています。



— 電子署名サービスを検討するに至った背景をお聞かせください。

開発担当者様 当社では、矯正治療を開始する前に重要事項をまとめた「インフォームドコンセント（以下、同意書）」をユーザーに確認・同意いただくフローを設けています。例えば、「マウスピースを既定の時間数着用してください」とか医療に100%はないので「一部思い通りに矯正できない可能性もあります」といった内容です。

当初はフォーム形式で同意取得を行っていましたが、ユーザーとの認識にズレが生じ問題になったことがありました。同意書確認の完了メールは送信されていたものの、ユーザーが後から同意内容を確認できない仕様であったため、顧問弁護士からも「証拠性の観点で不利な状況になる可能性がある」と指摘されました。この課題を受け、「本来あるべき同意取得の仕組みとは何か」を見直し、法的証拠力が認められるよう電子署名サービスの導入を検討しはじめました。

一 電子印鑑ソリューションDSSを選んだ経緯を教えてください。

開発担当者様 ウェブ検索で情報を収集し、最初は電子契約サービスが多く目に入りましたが、当社の用途とはややズレがあると感じました。その後、電子印鑑ソリューションDSS（以下DSS）を見つけ、詳細を問い合わせたところ、すぐに対応いただきました。DSSは当社が求める形式の電子署名を実装できそうな点に加え、初期費用や月額費用が不要で年間署名パック購入というシンプルな料金体系であることも魅力でした。一括で支払いが可能なので予算化もしやすく、経営層への説明がしやすかった点も導入の決め手となりました。探すのには少々苦労しましたが、結果的に理想的なサービスを見つけることができたと感じています。

一 DSS導入後、どのように変わりましたか。

開発担当者様 DSSが導入され、クリニックでの同意取得プロセスが大きく改善されました。ユーザーはLINEで送信されたURLから同意書を開き、項目ごとに内容を確認しながらチェックを入れていきます。すべての確認が完了すると、氏名を記入し、完了ボタンを押すことでPDFが自動生成されます。このPDFには、発行元組織の情報とともに電子署名が付与され、ユーザーのメールおよびLINEへ同意書の控えとして送付されます。



電子署名が付与された同意書は法的効力を持ち、ユーザーも自ら内容を確認・同意した証拠として明確に残るようになりました。今後、事業拡大に伴い対応クリニックが増加しても、DSSなら柔軟に対応できる見込みです。

 **GlobalSign** by **GMO** **GMOグローバルサイン株式会社**

〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-2-3 渋谷フクラス
TEL：03-4545-1800（受付時間：平日10:00～18:00）

グローバルサイン

検索

<https://jp.globalsign.com/>